



安心の拠り所

社会福祉法人

ELDERS

2004 OCT

vol. 24

年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : elders@nifty.com

発行者

芳賀 晟寿

編集者

企画広報室

住所

北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1
TEL (093) 652-3939
FAX (093) 652-3999

Memorial 2004 Summer

~風立ちぬ秋 忘れ得ぬ夏~

★年長者の里納涼祭★ ★ ~地域の皆様と~ ★



600名の参加

残暑厳しい8月14日、『年長者の里いきいき広場』で、法人と大蔵地区合同の納涼祭が行われました。

昨年大好評をいただいた、この夏“イチ押し”の大イベントです。町内会長様をはじめ、地域の皆様の「今年も盛大にやりましょう!」との力強い言葉に励まされながら、20代中心の実

行委員のメンバーも気合いを入れて望みました。「昨年よりもっともっと楽しんでいただく」ことをテーマに、頭を抱えたり、膨らむイメージに大笑いしたりと賑やかな企画会議を重ねること2か月。準備も佳境に入り、地域の皆様と一緒に炎天下、会場の草取りや櫓の組み立てに汗を流し、後の心配は当日の天気だけというところまで、何とかこぎつけました。

そして、納涼祭の日。直撃情報もあった台風13号を、これも気合で追い払い、準備がすべて終わる頃には、どの顔も真っ赤に陽焼けしていました。

忘れられない夏

いよいよオープニング。地域の皆様やご利用者、ご家族の皆様が続々と会場につめかけ、趣向を凝らした屋台や出店はあふれんばかりの賑わいです。太鼓の音とともに「いきいき広場」中央の盆踊りの輪が幾重にも広がり、提燈の灯りが浮き立つ頃、納涼祭メインの花火大会が始まりました。息つく間もなく、夜空に花開く

打ち上げ花火、それに続くナイアガラの美しいしぶき。会場のあちこちから、歓声や拍手が聞こえてきます。盆踊りの輪、太鼓の音、集まっていた皆様の賑やかな声、それらすべてが今年の納涼祭を見事に盛り上げてくれました。

町内会長様をはじめ、約600名の地域の皆様、ご入居者や家族の皆様、法人職員と実行委員の方たち、“忘れられない夏の一夜”のためにご協力いただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



納涼祭実行委員長

局 恭子

わっしょい百万夏祭り ~百万踊り初参加~



わっしょい実行委員長

大竹 一 視

年長者の里パワー炸裂

今年、年長者の里は初めて北九州市の「わっしょい百万夏祭りの百万踊り」に参加しました。参加者50名、

「年長者の里」のおそろいの法被を身にまとい、参加団体61組のおよそ5千人の踊り手とともに、市役所前の大通りで1時間元気いっぱい踊り通りました。8月8日(日)当日夕刻、現地には緊張顔の仲間が集まり、日も沈みかけるころいよいよ踊りの開始となりました。最初は硬くなっていた皆も、1回目の「燃えろみんなの北九州」が終わる頃には、周りの雰囲気にも慣れてまいりました。夕闇に包まれる頃には、すっかり踊りの渦に溶け込み、皆大きな声を出しながら元気に飛び跳ね、すっかり踊りに引き込まれていました。

踊りの終了まもなく、花火の打ち上げがはじまりました。大通りの真ん中

に陣取り、ビールを飲みながら花火を見るのは格別でした。打ち上げ場所が間近で、火薬が破裂する大きな音と同時に開く花火は、迫力満点でした。

来年は百人で百万踊りを

今年、初参加ではありましたが、踊り手となっていただいた皆さん、資材調達や給水係りとして支えていた

だいた皆さんのおかげで、成功裏に終えることができました。来年はぜひ百人で参加したいと考えています。今年参加できなかった踊り好きな方、来年は一緒に踊りましょう。

最後に「わっしょい百万夏祭り」に参加することで、社会福祉法人である年長者の里が北九州市民と一体となり、大変うれしく思っています。



わがまちの地域福祉と福祉経営 ⑤

～顧客を選び顧客から 選ばれる時代の福祉経営～

萩国際大学 国際情報学部

特任教授 皆川重男



「商品」になった福祉サービス

介護保険制度が導入され、施設サービスか在宅サービスか、又、施設についてもどのような種類の高齢者介護施設を選択するかを、本人もしくは家族が決定できるようになりました。措置の時代には、最低生活保障の視点から福祉サービスの水準を受益者ではなく行政が決定したのと比べ、大きな変化です。行政が四人部屋から個室中心にと方針を決めるのではなく、個室を好む人は個室、仲間が欲しい人は複数人部屋と高齢者が自ら選択できるのです。つまり、「受益者は福祉サービスを有用性で選択し、供給側(事業者)は収益性を考え、マーケットにおいて貨幣と交換し取引される経済財」としての商品になったのです。

公的サービスからの脱却

公共サービスは、企業が提供するサービスより常に遅れをとる傾向のあることを、経営学者のガルブレイスは豊かな社会の「病い」と指摘しました。例えば、自動車はどんどん生産されるが、公共サービスである街路、高速道路、駐車場などの充実はなおざりにされると言うのです。確かに、自動車は顧客の欲求を創造する働きかけを企業が積極的に行うのに対して、道路や駐車場への欲求は自立的なものではなく、遅れる傾向がありました。し

かし、福祉サービスが、利用者に評価されてはじめて意味を持つ「商品」になった現在、事業者(経営者)は受益者に選択される福祉サービスを創造し、長期的で有効な関係を構築することに力を注がなければなりません。

多様なニーズに対応する福祉サービス

公共サービス時代の影響か、福祉事業所は「多くの利用者を平等に満足させる」ことを考えてきたようです。しかし、利用者を平等に満足させることなど不可能です。利用者の欲求は多様で個性があります。例えば食事に関してだけでも、食事時間に多少の幅を持ちたい、バイキング形式のように種類を選びたい、仲間と食卓を囲みたい、食器は自分のものを使いたいなどの欲求は様々です。これらの全てを充足することはできません。事業者は、提供するサービスの内容について他の事業者との違いを明確にし、選択してもらわなければなりません。これが、福祉事業所の「ロイヤリティ」です。受給者が自らの欲求に従って施設を選択することは、同時に、福祉事業所が利用者を選択することでもあります。ロイヤリティは、一般に「忠誠心」と訳されます。「利用者」に事業所あるいは福祉サービスに忠誠心を持ってもらうためには、事業所に「愛情と尊敬と期待感」がなければなりません。今回は福祉事業におけるロイヤリティについて考えます。

Lecture

『産業化した 高齢福祉事業』

～福岡ひびき経営大学～



去る7月16日、信用金庫本店大ホールにおいて「不況期におけるリーダーシップ」をテーマに、「福岡ひびき経営大学」第20期講座が開かれました。

当日は、年長者の里・芳賀理事長も講師として招かれ、約200名の聴衆を前に、『産業化した高齢福祉事業』について講演を行いました。

その中で芳賀理事長は、市内の要介護高齢者とサービス供給量の現状分析や予測データに基づき、介護サービス事業が北九州市経済へ及ぼす効果と、社会福祉法人の活用による地域経済活性化の重要性を指摘しました。(以下要旨)

福祉法人を生かして 地域経済の活性化を

<規制の緩和を>

社会福祉法人が蓄積した財を活用し社会に貢献するには、規制緩和による事業展開の自由が必要不可欠である。

<高齢化による地域振興を>

高齢化により増大する福祉ニーズはサービス事業者の増加をもたらし、大きな雇用効果が得られる。

<一石四鳥だ>

社会福祉法人が新たに事業を展開できれば、①地域福祉の充実、②雇用の創出、③不動産や資金の需要が生まれ、④歳出の抑制等を図ることができる。



敬老月間 アラカルト

※百歳以上の
ご利用者様11名

～ボランティアの皆様 ありがとうございます～

“365日、毎日が敬老の日”の年長者の里ですが、9月は特にイベントが盛りだくさんでした。



ご長寿No.1
安部コヲ様
(103歳 大蔵園)



ドクターよりひとこと

脳梗塞を理解しよう 「どんな時、 脳梗塞を疑うか」

年長者の里 たつのおとしごクリニック
院長 小野 隆生

脳梗塞とは、脳に血液を送っている血管が詰まってしまう病気です。脳細胞は、非常にデリケートで、血液が送られなくなると数分で死滅します。それだけではなく、死滅した脳細胞から放出された物質によって周囲の脳細胞が障害を受けるため、放置するとさらに病巣が広がります。このため、脳梗塞の治療は時間との戦いでもあります。1分でも早く治療を開始することが回復するために最も大切です。脳梗塞を発症した際に、医療機関をすぐに受診するためには、「脳梗塞になったらどんな症状が出てくるのか」を知っておく必要があります。実際には、脳梗塞によって引き起こされる神経症状は非常に多彩ですが、テキサス医療センターの「脳卒中を疑う徴候」を参照しました。これらの徴候のうち、1つでもあては

まる場合はすぐに医療機関への受診が必要です。

- ・ 同側半身の腕、顔、脚における突然の麻痺または脱力
 - ・ 特に片側の眼における突然の視力喪失
 - ・ 発話または会話理解能力の完全、またはそれに近い喪失
 - ・ 原因不明の激しい頭痛
 - ・ 説明のつかない眩暈、不安定、転倒
- (脳卒中:脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の総称)



私は今⑤

「傘寿のたわ言」

プロローグ

～酒飲むな。こっそり、ひっそり酒飲むな。～

「おじいさん元気ですね」ケアハウスから徒歩5分の酒屋でカクウチをしていたら隣の客から声をかけられ「おじいさん」の聞き違いと思った。「年なんぼですか」「80才です。まだ若いです。」と私。「すると私は後25年生きねばなりません。私が25歳の時、父は59才で逝きました。」私は返す言葉はなかったがやっぱり「おじいさん」と呼ばれたのだ。私の父は行年80才だったので私は父より1年長生きしたことになる。特に父を喜ばしたことはないが80才まで生きたことが親孝行かも。隣の人はスーパードライの大瓶



小原清伍様 八十歳
(大正十三年三月二十八日生)

を飲み干し、私は350mlの缶を楽しんだ。8月8日の夜、年長者の里からわっしょい百万通りに参加したと聞き、応援がてらに見物にでかけた。市役所前にて待つことしばし。そろいの黄色い法被を着た50人ばかりの集団が「年長者の里」のプラカードを先頭にやってきた。ガンバレの声援しきり。花火大会は見送り、バスで大蔵へ。コンビニで350mlを求め、バス停のベンチで一人楽しんだ。

エピローグ

～酒飲めよ。こっそり、ひっそり酒飲めよ。～

Improvement project in service サービス向上プロジェクト

マナーアップ 研修会開催

部会長：佐藤 幸子

法人がマナーコンサルタントの先生の指導を受けて、2年目になります。今年、「採用時基礎研修」「敬語と話し方」「来客対応」「電話対応」等、毎月研修会を企画開催し、個別指導に重点を置いた職員教育を実施しています。

また、全職員から「接遇」と「交通安全」の標語を募集して、優秀作上位3点づつを選出しました。それを各サービス事業所に掲示して、意識の啓発・向上を図っています。(最終面に優秀作を掲載)



電話対応トレーニング

リスクマネジメント 研修会開催

部会長：亀井 郁子

今年度は「気づき」のコンセプトを持ち、各事業者に配置されているリスクマネージャーを中心に、活動しています。7～8月にかけて介護のさまざまな場面を設定し、危険予知訓練を行いました。

危険予知訓練とは、職員の日々の業務の中で「何かおかしい」「危ないかもしれない」といった危険を予知する能力を高める研修です。職員の感受性を高めることで事故を未然に防ぎたいと思っています。



危険予知トレーニング

年長者の里 福祉オンブズマン委員会 平成16年度 上半期活動報告 (4月～9月)



オンブズマン会議

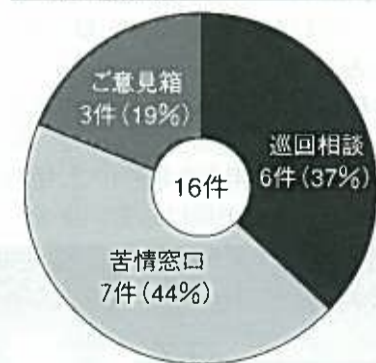


巡回相談

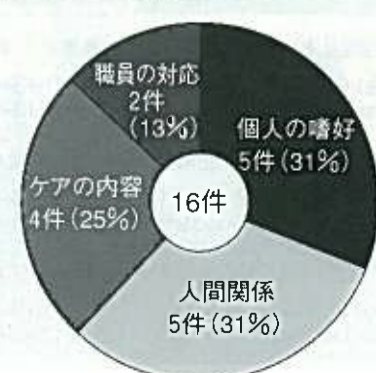
活動状況

| | |
|----|----------------------------|
| 4月 | 巡回相談 (特養・大蔵園) |
| 5月 | 研修会 (講師：河嶋副委員長) |
| 6月 | 巡回相談 (大蔵園デイサービス) (正寿園デイケア) |
| 8月 | 巡回相談 (養護・西峰園) (生活支援ハウス八幡) |
| 9月 | オンブズマン会議 (委員、理事長、施設長) |

対応件数



相談内容



オンブズマン委員

●委員長 ○副委員長

- 江藤澄哉 様 (産業医科大学名誉教授)
- 河嶋静代 様 (北九州市立大学助教授)
- 福田玄祥 様 (元日弁連副会長)
- 北山清種 様 (八幡東区社会福祉協議会会長)
- 前田安子 様 (市民生児童委員女性部会長)
- 長田 富 様 (八幡東区自治総連合会副会長)

大健闘 電話応対コンクール県大会に 全国大会出場は射程圏

(財)日本電信電話ユーザー協会主催の、平成16年度電話応対コンクール福岡県大会が、9月28日福岡市で開催されました。

一昨年に続き2度目の出場となった今年も、北九州地区大会を勝ち抜いた中須賀愛さん(正寿園)と兵働晴美さん(正寿園デイケア)の二人が、競技に臨みました。

県内各地区の代表は、一般企業の従業員ばかりで、社会福祉法人は異色の存在。張りつめた空気の中、兵働さんが見事、審査員特別賞を獲得し、中須賀さんもあと一步の健闘。残念ながら、全国大会出場は果



たせなかったものの、今回の体験は、二人にとって大きな財産となったことでしょう。この貴重な経験を、これからは年長者の里でのマナーアップやご利用者の満足向上に、きっと活かしてくれるはず。そして来年は、全国目指して再びチャレンジ!

そして来年は、全国目指して再びチャレンジ!



HOSPITALITY ようこそ年長者の里へ

韓国蔚山広域市 日本訪問団 様



蔚山広域市社会福祉士協会の日本訪問団(チェ・サンラク団長20名)が、先進国の社会福祉施設を視察するために、年長者の里にお見えになりました。

同協会は、韓国の法定団体の一つで、高齢者、児童、医療機関等の専門福祉士により構成されています。施設見学とその後の意見交換会では、介護保険制度や高齢者の状況、サービスの内容等について活発な質疑応答が交わされ、国と言葉を越えた有意義な時間を共にすることができました。

年長者の里が、韓国の社会福祉事業の発展と向上に、微力ながら貢献することができた一日でした。

八幡中央 ロータリークラブ 様



八幡中央ロータリークラブ(楠橋達成会長)の職場訪問に年長者の里が選ばれ、約50名のロータリアンをお迎えしました。

会員の中には、年長者の里とも縁浅からぬ方がいらっしゃる様子で、和やかな雰囲気の中、職員を交えての会食が進みました。

法人の事業内容についての説明後、4つのグループに分かれて各施設をご見学いただきました。

高齢化が著しい八幡東区にあって、地域のオピニオンリーダーとして活躍されている会員の皆様には、この機会を通じ、地域とサービスとの橋渡し役になっていただければ幸いです。

Presentation 年長者の里ヘルパーステーション

~いつまでも健やかな「ご自宅での生活」を支援します~

私たちの使命

いつまでも自宅で生活を続けたいと望んでいる方は、たくさんいらっしゃいます。私たちは、安心と自立の中で毎日をお過ごしいただけるように、柔軟で幅広い支援を行うことを目標としています。どうぞお気軽に、ご相談ください。

ヘルパーによるサービス

介護保険制度のサービスは、凡そ二つに分けられます。洗濯・掃除等の環境整備や調理を主体とする食生活の支援が、生活援助サービスです。また、お風呂・食事・トイレの際に直接身体に触れる支援を、身体介護サービスと呼んでいます。

いずれもケアプランに基づき、生活の質と自立を高めるために行われます。年長者の里では、所長以下、総勢100名のスタッフが、約250名のご利用者の暮らしに、毎日安心と安全をお届けしています。

たすけあいワーカーズ

たすけあいワーカーズは、8年前に在宅高齢者の支援と高齢者雇用を目的として活動を開始しました。介護保険では適用されない、生活上必要な家事援助や、使用していない部屋の掃除、ガラス磨きなどができます。また屋内外のサービスとして、障子の張替え、簡単な大工仕事、草刈り、剪定などがあり、主に男性のワーカーさんが担当しています。ご利用の際にはご自宅に訪問してお話をうかがい、後日見積書を提示させていただいています。相談員1名とワーカー30名で頑張っています。



マナーアップ標語優秀作

| 接遇部門 | 交通安全部門 |
|--|---|
| 金賞 挨拶は心を開く第一歩 工藤 悦子 (正寿園デイケア) | 金賞 安全は護る気持ちと思いやり 村山 勝己 (在宅介護支援センター) |
| 銀賞 広げよう皆であいさつ笑顔の輪 横山 祥江 (老健・正寿園) | 銀賞 ひと呼吸心のゆとりが事故防止 牧 愛加 (老健・正寿園) |
| 銅賞 絶やすまい笑顔あいさつ思いやり 川根 山久 (大蔵園デイサービス) | 銅賞 利用者の笑顔と安全運びます 局 亮 (養護・西峰園) |

Special Thanks

ご寄付・ご寄贈・ボランティアの皆様ありがとうございました

- | | | | |
|---|--|---|---|
| ご寄付 福岡ひびき信用金庫様 吉岡 京様 坂本 美恵子様 北九州をうたう会様 個人ボランティア 田中 須美子様 藤村 じゅん子様 入口 雪奈様 渡邊 ヨネ様 安村 祥子様 | 井上 弘子様 安増 千鶴子様 和田 愛様 玉田 ヒサ子様 高木 禮子様 団体ボランティア ビューティヘルパー様 中央地区民生児童委員様 神田 杉の実保育園様 佐賀第三地区民生児童委員様 花 月 会 様 | 美萩野女子高校様 あひる八幡東ブロック様 ボランティア大蔵様 ポプリの会様 若松青年商業会様 菊 美 会 様 菜の花ダンスサークル様 八幡 高 校 様 メケ・アロハ様 M・T・アロハ・カワイ様 白石 洲 梅 会 様 | 折り紙きずな様 麻生医療福祉専門学校様 配食ボランティアの会様 ザ・ファミリーの会様 M・Y・O・K・I 様 若 葉 会 様 竹 繁 流 若 竹 会 様 美 州 会 様 佐賀第二地区民生児童委員様 ボランティア 櫻田 様 |
|---|--|---|---|

年長者の里 ヘルパーステーション ☎652-2388

| 施設・事業所 電話/FAX一覧表 | ケアハウス八幡 | たつのおとしごクリニック | 在宅介護支援センター |
|--|---|---|--|
| 社会福祉法人 年長者の里本部 Tel:093-652-3939 Fax:093-652-3999 | Tel:093-652-3939 Fax:093-652-3999 | Tel:093-652-5210 Fax:093-652-5250 | Tel:093-652-2100 Fax:093-652-3999 |
| 介護老人保健施設 正寿園 Tel:093-652-3911 Fax:093-652-2399 | 養護老人ホーム 西峰園 Tel:093-652-6484 Fax:093-652-6486 | たつのおとしごサービスセンター Tel:093-652-3945 Fax:093-652-3943 | ヘルパーステーション Tel:093-652-2388 Fax:093-652-3990 |
| 介護老人福祉施設 大蔵園 Tel:093-652-6492 Fax:093-652-6495 | 生活支援ハウス八幡 Tel:093-652-5590 Fax:093-652-2580 | 大蔵園デイサービスセンター Tel:093-652-2200 Fax:093-652-2200 | 訪問看護ステーション Tel:093-652-5508 Fax:093-652-5250 |
| | グループホーム八幡 Tel:093-652-6800 Fax:093-652-2530 | 正寿園デイケアセンター Tel:093-652-2348 Fax:093-652-2399 | 地域配食サービスセンター Tel:093-652-2100 Fax:093-652-3999 |

